

黄陂县志

HUANGPIXIANZHI



黄陂县县志编纂委员会
武汉出版社

黃陂縣志

百歲辛亥老人喻育之



鄂新登字 08 号

黄 陂 县 志

黄陂县县志编纂委员会

*

武汉出版社出版发行

武汉市江岸区北京路 20 号 邮政编码 430014

武汉大学出版社印刷总厂印刷

*

787×1092 毫米 16 开本 35.25 印张 14 插页 字数 1000 千字

1992 年 12 月第 1 版 1992 年 12 月第 1 次印刷

印数:1-5000 册 定价:49.00 元

ISBN7-5430-0797-5/K·105

黄陂县县志编纂委员会

主 任 何仁俊

副主任 蓝毓文 方细庭 王家骅 钟雨金 张传谋 李 甦
徐世苗 丁道炳

委 员 (以姓氏笔画为序)

王子仲 王美今 卢训春 许世祥 朱贤卿 刘声扬
向忠华 孙维伦 李立佳 邱铁军 陈 熙 陈咸城
陈锡炳 段守万 桂长元 湛志刚 程文书 谭崇庆

1982年成立县志编纂委员会以来,曾任主任的还有王炳友
吴治平 陈和润 张厚今;曾任副主任的还有朱明富 张文波
廖大高 余显振; 曾任委员的还有李钦高 王润洁 方幼成
高世忠 罗汉梁 史清宵 张明祥 黄 汛 潘明华 段昌善
易少鹏 曾宪波 刘长清 余纯廉 熊天顺 刘良浩 王惠芳
周裕元 李华捌 李太安

黄陂县县志办公室

主 任 陈 熙

副主任 谭崇庆 邱铁军

1982年成立县志办公室以来,曾兼任主任的还有陈咸城;
曾兼任副主任的还有李钦高 王润洁

《黄陂县志》总纂编辑室

总 纂 陈 熙

常务副总纂 邱铁军

副 总 纂 谭崇庆

特邀编纂 王美今 魏叔康

编辑及工作人员
(以姓氏笔画为序)

丁喜娥	王安康	王治家	冯善元	李清明	吴建萍
吴精华	余焕刚	张伯勋	张亚东	张晓华	易友章
胡 旭	周舜卿	彭光明	程显明	喻永林	潘双全
谭继明	颜学甫	魏益想			

2432/02

审定：武汉地方志编纂委员会

副 总 纂 向顺立

编审人员 黄道忠 宛若轩 李 赤 杨晓华

序

新编《黄陂县志》即将出版，这是一件值得高兴的事情！这本书，对于建设社会主义物质文明与精神文明都是很有用处的。

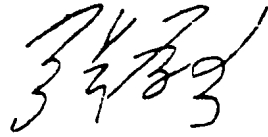
地方志作为“一方之全史”，是记载一方天文地理、政治经济、社会生活、风土人情等诸方面的综录，是我们祖国珍贵的文化遗产之一。现今尚能见到比较完整的、旧时的《黄陂县志》，有明嘉靖本、清康熙本和同治本。这些志书保存了一些重要史料，使我们得以鉴古知今。新编《黄陂县志》在继承传统的基础上，用科学的方法，翔实的资料，记述 19 世纪中叶以来黄陂经济与社会发展的方方面面，是黄陂县情资料的总汇。

新编《黄陂县志》，也是人们从事自然、社会调查研究工作诸多成果的结晶。解放以来，全县先后开展了人口普查、土壤普查、农业自然资源调查、工业普查、地名普查、文物普查，积累了丰富的资料。本书吸取和运用了这些调查研究的重要成果，对提高志书质量具有重要的意义。

当今，已进入信息社会，人们对信息的需求更为迫切。信息的搜集、贮存与利用正逐步采用现代化的工具与手段。新方志要发挥更大的效益，也必须适应信息社会的要求，不断提高科学水平，进一步增强实用功能。为

此，除了加强修志部门的建设外，还有赖于全社会的共同努力。党政机关、群众团体、各行各业都要动起手来，建立与健全档案工作制度，注重平素积累、整理资料，寓修志于日常工作之中，并且加强对自然、社会的调查研究工作，为编撰富有时代气息的高质量的志书奠定可靠的资料基础；为深入探索研究县情，更好地为改革、开放和两个文明建设服务。

通读全书，有感如上，是为序。

A handwritten signature in black ink, appearing to be '张杰' (Zhang Jie), written in a cursive style.

1992年3月

凡 例

一、本志以马列主义、毛泽东思想为指导，以史料为基础，全面系统地反映近代以来黄陂县历史与现状的基本面貌。

二、本志断限时间。起于1840年，止于1985年。为贯通历史，纵述始末，少数内容适当上溯。

三、本志采用章节体。以节或目为基本记述单位。设概述、大事记及建置、自然环境、农业、水利、工业、乡镇企业、交通邮电、商业、金融、财政税务、经济管理、城乡建设、政党社团、政权机关、军事、政法、政事、教育、科技、文化、体育、卫生、民俗、人物等专篇。

四、本志按事物的科学属性与社会分工相结合，谋篇布局，以类系事，不受现行行政管理体制的限制。

五、本志采用志、记、传、图、表、录等多种体裁，以志为主。彩图、彩照置于卷首，其他图、表分别插入有关章节。

六、本志中的历史朝代，采用明、清、中华民国（简称民国）等通称。1949年10月1日中华人民共和国成立前、后，简称建国前、建国后。1949年5月9日黄陂县城解放前、后，简称解放前、解放后。

七、本志纪年方法。建国前用朝代年号，建国后用公元纪年。民国以前朝代年号用汉字，加注公元时间；民

国及公元纪年用阿拉伯数字。

八、本志坚持人物生不立传的原则。立传人物分别归入人物传、人物录中，以卒年先后为序。

九、本志采用语体文、记述体。字体采用国家语言文字工作委员会公布的简化字。凡引用古籍及古人名、地名，简化字易引起误解的，仍用繁体字。计量单位采用当时的习惯用法。

十、本志所用资料，不注明出处。如有争议或多说并存的随文说明。

目 录

概 述	(1)	第五章 土壤植被	(59)
大事记	(8)	第一节 土壤	(59)
建置篇	(27)	第二节 植被	(60)
第一章 建置	(27)	第六章 自然资源	(60)
第一节 位置面积	(27)	第一节 土地资源	(60)
第二节 历史沿革	(27)	第二节 动物资源	(61)
第三节 行政区划	(28)	第三节 植物资源	(61)
第二章 县城	(33)	第四节 矿物资源	(61)
第三章 集镇	(34)	农业篇	(63)
第四章 人口	(38)	第一章 农业生产关系	(63)
第一节 人口变化	(38)	第一节 封建土地所有制	(63)
第二节 人口分布	(40)	第二节 农民个体所有制	(64)
第三节 人口构成	(41)	第三节 集体所有制	(65)
第四节 计划生育	(42)	第二章 种植业	(67)
自然环境篇	(44)	第一节 耕作制度	(67)
第一章 地质地貌	(44)	第二节 农田建设	(67)
第一节 地质	(44)	第三节 作物种植	(68)
第二节 地貌	(46)	第四节 农技农艺	(72)
第二章 陆地水	(48)	第三章 林业	(77)
第一节 河流	(48)	第一节 资源	(77)
第二节 湖泊	(49)	第二节 经营体制	(80)
第三节 地下水	(50)	第三节 植树造林	(82)
第三章 气候	(51)	第四节 林木管理	(84)
第一节 气候特征	(52)	第四章 饲养业	(86)
第二节 气候要素	(52)	第一节 资源	(86)
第三节 灾害性天气	(56)	第二节 畜禽生产	(88)
第四章 自然灾害	(57)	第三节 畜禽品种	(90)
第一节 水灾	(57)	第四节 疫病防治	(91)
第二节 旱灾	(58)	第五节 管理	(92)
第三节 风灾	(58)	第五章 水产业	(92)
第四节 雹灾	(58)	第一节 水域	(92)
第五节 虫灾	(58)	第二节 养殖	(93)

第三节 捞捕	(97)	第五节 建筑材料	(138)
第四节 鱼病防治	(98)	第六节 化工医药	(139)
第五节 管理	(98)	第七节 五金电器	(141)
第六章 农业机具	(99)	第八节 玻璃陶瓷	(142)
第一节 传统农具	(100)	第九节 食品	(143)
第二节 农业机械	(101)	第十节 印刷造纸	(144)
第三节 经营管理	(102)	第十一节 纺织缝纫	(145)
水利篇	(103)	第十二节 工艺美术	(146)
第一章 灌溉工程	(104)	第十三节 禽畜产品加工	(147)
第一节 蓄水设施	(104)	第十四节 竹木藤棕草制品	(147)
第二节 提水工程	(109)	第三章 管理	(148)
第三节 渠道工程	(111)	第一节 机构	(148)
第二章 防洪工程	(112)	第二节 管理体制	(148)
第一节 堤垸	(112)	第三节 经济效益	(149)
第二节 河道治理	(117)	乡镇企业篇	(150)
第三章 排涝工程	(118)	第一章 经济体制	(151)
第一节 排水站	(118)	第一节 乡村集体企业	(151)
第二节 涵闸	(119)	第二节 联户合作企业	(152)
第四章 湖区开发	(121)	第三节 家办企业及个体户	(152)
第一节 武湖围垦	(121)	第二章 企业构成	(153)
第二节 后湖治理	(121)	第一节 工业企业	(153)
第三节 董家湖治理	(121)	第二节 农业企业	(156)
第五章 管理	(122)	第三节 运输企业	(157)
第一节 管理机构	(122)	第四节 建筑企业	(157)
第二节 工程管理	(123)	第五节 商业企业	(158)
第三节 水利经费及水费计收	(123)	第三章 管理	(158)
第六章 防汛抗旱	(126)	第一节 管理机构	(158)
第一节 防汛	(126)	第二节 生产经营	(158)
第二节 抗旱	(128)	第三节 职工招聘与劳动计酬	(159)
工业篇	(130)	附录 部分企业与产品	(159)
第一章 工业结构	(130)	交通邮电篇	(163)
第一节 所有制结构	(130)	第一章 交通运输	(163)
第二节 部门结构	(132)	第一节 公路	(163)
第三节 地区分布	(133)	第二节 水路	(169)
第二章 工业行业	(134)	第三节 铁路	(172)
第一节 电力	(134)	第四节 装卸搬运	(173)
第二节 冶金铸造	(135)	第五节 交通管理	(174)
第三节 机械制造	(136)	第二章 邮政电信	(176)
第四节 船舶汽车农机修造	(138)	第一节 机构	(176)

第二节 邮政····· (177)	第三节 信用合作社····· (217)
第三节 电信····· (179)	第四节 保险公司····· (218)
商业篇 ····· (182)	第二章 货币 ····· (218)
第一章 市场 ····· (182)	第一节 通用货币····· (218)
第一节 集市····· (182)	第二节 货币流通····· (220)
第二节 商户····· (183)	第三章 金融业务 ····· (223)
第二章 经营体制 ····· (186)	第一节 存款····· (223)
第一节 私营商业····· (186)	第二节 贷款····· (225)
第二节 国营商业····· (187)	第三节 拨款····· (230)
第三节 供销合作商业····· (188)	第四节 结算····· (230)
第四节 其他集体商业····· (189)	第五节 保险····· (231)
第五节 部门商业····· (190)	第六节 代理业务····· (232)
第六节 个体商业····· (191)	财政税务篇 ····· (234)
第三章 行业贸易 ····· (191)	第一章 财政 ····· (234)
第一节 粮油····· (191)	第一节 收入····· (234)
第二节 百货····· (196)	第二节 支出····· (237)
第三节 纺织品····· (197)	第三节 管理····· (238)
第四节 五金交电化工····· (198)	第二章 税务 ····· (241)
第五节 医药····· (199)	第一节 农业税····· (241)
第六节 副食品····· (200)	第二节 工商税····· (244)
第七节 食品水产品····· (201)	第三章 审计 ····· (247)
第八节 石油煤炭····· (203)	第一节 机构····· (247)
第九节 金属材料机电设备····· (204)	第二节 审核····· (247)
第十节 建筑材料····· (204)	经济管理篇 ····· (248)
第十一节 农业生产资料····· (205)	第一章 国民经济比例关系 ····· (248)
第十二节 农副土特产品····· (206)	第一节 农轻重比例关系····· (248)
第十三节 日用杂品····· (207)	第二节 农业内部比例关系····· (249)
第十四节 废旧物资回收····· (208)	第三节 工业内部比例关系····· (250)
第十五节 饮食服务业····· (208)	第四节 基本建设投资比例关系 ····· (251)
第四章 集市贸易 ····· (210)	第二章 计划管理 ····· (252)
第一节 发展概况····· (210)	第一节 管理机构····· (252)
第二节 市场建设····· (212)	第二节 生产计划管理····· (252)
第五章 对外贸易 ····· (212)	第三节 流通计划管理····· (253)
第一节 经营机构····· (212)	第四节 投资计划管理····· (253)
第二节 出口商品····· (212)	第五节 统计调查与监督····· (253)
金融篇 ····· (215)	第三章 工商行政管理 ····· (254)
第一章 金融机构 ····· (215)	第一节 管理机构····· (254)
第一节 当铺钱庄银楼····· (215)	第二节 市场管理····· (254)
第二节 银行····· (216)	第三节 企业登记管理····· (254)

第四节	个体工商户管理·····	(255)	第一节	历届会议·····	(287)
第五节	经济合同商标广告管理··	(255)	第二节	常设机构·····	(288)
第四章	物价管理·····	(256)	第三节	工作概况·····	(289)
第一节	管理体制·····	(256)	第四章	社会团体·····	(291)
第二节	市场物价·····	(257)	第一节	工人团体·····	(291)
第三节	价格管理·····	(259)	第二节	农民团体·····	(294)
第五章	物资管理·····	(259)	第三节	青年团体·····	(296)
第一节	机构·····	(259)	第四节	妇女团体·····	(299)
第二节	管理·····	(260)	第五节	工商业团体·····	(301)
第六章	计量标准管理·····	(260)	政权机关篇·····		(303)
第一节	计量·····	(260)	第一章	清末政权机关·····	(303)
第二节	标准·····	(261)	第一节	县衙署·····	(303)
城乡建设篇·····		(262)	第二节	乡里·····	(303)
第一章	城镇农村建设·····	(262)	第二章	民国政权机关·····	(304)
第一节	县城建设·····	(262)	第一节	参政机构·····	(304)
第二节	集镇建设·····	(265)	第二节	行政机构·····	(304)
第三节	农村建设·····	(266)	第三章	革命根据地政权机关··	(306)
第二章	房地产管理·····	(267)	第一节	苏维埃政府·····	(306)
第一节	房产管理·····	(267)	第二节	抗日民主政府·····	(307)
第二节	地产管理·····	(267)	第三节	爱国民主政府·····	(308)
第三节	土地征用管理·····	(268)	第四章	解放后政权机关·····	(308)
第三章	建筑业·····	(269)	第一节	权力机构·····	(308)
第一节	建筑队伍·····	(269)	第二节	行政机构·····	(314)
第二节	施工设备·····	(269)	军事篇·····		(320)
第三节	施工技术·····	(269)	第一章	机构·····	(320)
第四节	工程设计·····	(270)	第一节	解放前军事机构·····	(320)
第五节	管理·····	(270)	第二节	解放后军事机构·····	(320)
第四章	环境保护·····	(271)	第二章	武装·····	(321)
第一节	工业污染治理·····	(271)	第一节	地方武装·····	(321)
第二节	农业污染治理·····	(272)	第二节	驻军·····	(322)
第三节	水土保持·····	(272)	第三章	兵役·····	(323)
政党社团篇·····		(274)	第一节	募兵制·····	(323)
第一章	中国共产党·····	(274)	第二节	抽丁制·····	(323)
第一节	解放前组织与活动·····	(274)	第三节	志愿兵役制·····	(323)
第二节	解放后组织与活动·····	(277)	第四节	义务兵役制·····	(323)
第二章	中国国民党·····	(285)	第五节	预备役·····	(323)
第一节	县党部组织概况·····	(285)	第四章	民兵·····	(324)
第二节	县党部主要活动·····	(286)	第一节	组织建设·····	(324)
第三章	人民政协·····	(287)	第二节	军事训练·····	(324)

第三节 联防执勤..... (325)	第三节 劳保福利..... (361)
第四节 参军参战..... (326)	第四节 职业培训..... (361)
第五节 两带活动..... (326)	第四章 侨务外事 (362)
第五章 人防工程 (326)	第一节 侨务..... (362)
第六章 兵事纪略 (327)	第二节 外事..... (362)
附录 日军暴行..... (329)	第五章 信访 (363)
政法篇 (330)	第一节 接待..... (363)
第一章 公安 (330)	第二节 处理..... (363)
第一节 机构..... (330)	教育篇 (365)
第二节 解放前警务工作..... (331)	第一章 私塾县学书院 (365)
第三节 解放后公安工作..... (332)	第一节 私塾..... (365)
第二章 检察 (336)	第二节 县学..... (366)
第一节 机构..... (336)	第三节 书院..... (366)
第二节 检察工作..... (337)	第二章 幼儿教育 (367)
第三章 审判 (340)	第一节 幼儿园..... (367)
第一节 机构..... (340)	第二节 学前班..... (367)
第二节 解放前审判工作..... (341)	第三章 普通教育 (369)
第三节 解放后审判工作..... (342)	第一节 发展概况..... (369)
第四章 司法行政 (344)	第二节 教师..... (370)
第一节 机构..... (344)	第三节 学生..... (372)
第二节 司法行政工作..... (344)	第四节 学制课程与教学..... (373)
政事篇 (346)	第五节 经费与设施..... (375)
第一章 民政 (346)	第四章 职业技术教育 (378)
第一节 优抚..... (346)	第一节 师范学堂(校)..... (378)
第二节 安置..... (348)	第二节 农职业学堂(校)..... (378)
第三节 救灾救济..... (350)	第三节 技工学校..... (380)
第四节 社会福利..... (353)	第五章 成人教育 (380)
第五节 支前支边..... (354)	第一节 初等教育..... (380)
第六节 扶苏扶贫..... (355)	第二节 中等教育..... (381)
第七节 婚姻登记..... (356)	第三节 高等教育..... (382)
第八节 殡葬改革..... (356)	第六章 革命根据地教育 (383)
第二章 人事 (357)	第一节 干部教育..... (383)
第一节 管理体制..... (357)	第二节 国民教育..... (384)
第二节 干部来源..... (357)	第七章 教育机构与管理 (386)
第三节 选拔调配..... (357)	第一节 行政机构..... (386)
第四节 离休退休..... (358)	第二节 业务机构..... (386)
第三章 劳动 (359)	附录 一、沦陷时期教育概况 (387)
第一节 劳动就业..... (359)	二、教会学校..... (387)
第二节 职工工资..... (359)	三、特种教育..... (388)

科技篇	(389)	第一节 文艺创作	(416)
第一章 科技组织	(389)	第二节 泥塑膏塑	(417)
第一节 行政机构	(389)	第三节 楚剧	(417)
第二节 科研单位	(389)	第四节 鼓书	(419)
第三节 学术团体	(390)	第五节 皮影戏	(419)
第四节 四级农科网	(391)	第六节 民间艺术	(420)
第二章 科技队伍	(392)	第七节 美术书法摄影	(425)
第一节 发展概况	(392)	第三章 文物胜迹	(427)
第二节 人员结构	(392)	第一节 古迹	(427)
第三节 人员管理	(394)	第二节 革命旧址	(435)
第四节 职称评定	(394)	第三节 文物	(436)
第三章 科技管理	(394)	第四节 名胜	(438)
第一节 计划管理	(394)	第四章 广播电视新闻通讯	(440)
第二节 经费管理	(395)	第一节 广播事业与设施	(440)
第三节 成果管理	(395)	第二节 电视	(441)
第四章 科技成果	(395)	第三节 新闻	(441)
第一节 主要科技成果	(395)	体育篇	(443)
第二节 科技论著	(398)	第一章 群众体育	(443)
第五章 科技工作	(400)	第一节 传统体育	(443)
第一节 科普活动	(400)	第二节 近代体育	(444)
第二节 科技服务	(401)	第二章 业余训练	(446)
第三节 科技推广与应用	(401)	第一节 业余体校	(446)
第六章 能源开发	(403)	第二节 训练网点	(447)
第一节 沼气	(403)	第三节 人才输送	(447)
第二节 省柴灶	(404)	第三章 体育竞赛	(448)
第三节 其他能源	(404)	第一节 县办体育竞赛	(448)
第七章 气象测报	(405)	第二节 参加上级举办的体育竞赛	(450)
第一节 测报	(405)	第四章 体育经费与设施	(465)
第二节 预报	(405)	第一节 体育经费	(465)
文化篇	(406)	第二节 体育设施	(465)
第一章 文化事业与设施	(406)	卫生篇	(466)
第一节 文化馆(站)	(406)	第一章 预防	(466)
第二节 图书馆(室)	(408)	第一节 公共卫生	(466)
第三节 档案馆(室)	(409)	第二节 急性传染病防治	(469)
第四节 电影	(410)	第三节 地方病慢性病防治	(470)
第五节 书店	(411)	第二章 医疗	(475)
第六节 楚剧团	(411)	第一节 医疗单位	(475)
第七节 其他文艺团队	(414)	第二节 医疗制度	(476)
第八节 演映场所	(415)	第三节 中医	(479)
第二章 文学艺术	(416)		

第四节 西医····· (479)	第四节 行旅····· (492)
第五节 中西医结合····· (479)	第五节 娱乐嗜好····· (493)
第六节 重大医疗活动····· (480)	第三章 风尚习俗····· (493)
第七节 医疗设备····· (480)	第一节 传统节日····· (493)
第三章 血吸虫病防治····· (481)	第二节 婚嫁····· (494)
第一节 疫区疫情····· (481)	第三节 丧葬····· (495)
第二节 防治机构····· (482)	第四节 寿诞····· (495)
第三节 防治措施····· (482)	第五节 称谓····· (496)
第四节 疫区新貌····· (484)	第六节 其他习俗····· (496)
第四章 妇幼保健····· (484)	第七节 迷信····· (497)
第一节 接生····· (485)	第四章 宗教····· (497)
第二节 妇女保健····· (485)	第一节 佛教····· (497)
第三节 儿童保健····· (485)	第二节 道教····· (498)
第五章 药政药检····· (486)	第三节 基督教····· (498)
第一节 管理机构····· (486)	第四节 天主教····· (499)
第二节 药品督查····· (487)	第五章 帮会····· (500)
第六章 节育技术····· (487)	第六章 方言····· (500)
民俗篇····· (489)	第一节 语音····· (501)
第一章 宗族家庭····· (489)	第二节 词汇····· (502)
第一节 宗族····· (489)	第三节 语法····· (504)
第二节 家庭····· (490)	人物篇····· (507)
第二章 生活习惯····· (491)	一 人物传····· (507)
第一节 饮食····· (491)	二 人物录····· (539)
第二节 服饰····· (492)	编后记····· (547)
第三节 居住····· (492)	

概 述

黄陂是武汉市的郊县之一。今县域，古为荆地，春秋属黄，战国归楚，秦入南郡。自汉至南北朝，常分属于二、三县分。先后隶属西陵、安陆、石阳、潯阳、木兰、梁兴、梁安等县。但西南一隅多属潯阳县；包括腹部和东北部在内的大部分地区，多属西陵县。黄陂县建置始于北周大象元年（公元 579 年），距今 1400 多年。建县之初，县域仅限于木兰山以南。到

宋代，木兰山一带划入，县域大体稳定下来。在后来的行政区划调整中，东、西边界变化不大，南、北边界向内收缩，划出的面积较大。1985 年，全县总面积 2 261 平方公里，总人口数 938 660 人，设 11 个区、12 个县辖镇、1 个国营农场，辖 43 个乡、10 个区辖镇。县人民政府所在地城关镇，位于县域腹部偏南，距武汉市区 34 公里。

（一）

黄陂县地处武汉北郊，是鄂东北低山丘陵区与江汉平原的结合部。气候温和，雨量适中，日照充足，国土资源多样，拥有发展农业生产和多种经营的有利条件。

县境北部多低山，为大别山余脉，分为 11 条较小的山脉。西北主峰超过 700 米的山脉有双峰尖、黄牯石和矿山。正北主峰超过 400 米的山脉有大顶山和牛脊岭。东北部的山脉有木兰山和棺材山。矿山山脉自西北蜿蜒东南行，横亘于中部，把县域分为南北两个部分。

县境南部古为云梦大泽的一隅，江汉湖河交汇，联成水网。明代中叶，汉水入江口改道，汉口古镇最终淤成。在此期间，县境南部的众多湖泊逐渐淤积以至消失，造就大片夏水冬陆的沼泽湿地，形成县南边境与武汉市郊隔河相望的地理格局。明嘉靖县志记载当时武湖的情景：“武湖……周围四十余里，平原坦旷，夏水涨，汪洋千顷，秋冬水落地出，为往来之通衢。”

县境内主要河流有潯水、界河、府河和注入北湖的 5 条河流，流域面积 1 800.5 平方公

里（不含府河和支流），流程 216.61 公里。这些河流均发源于大别山脉南麓，流向由北至南汇入长江。潯水是纵贯全境的主要河流，总流程 142.14 公里。1977 年下游改道后，县内流程 90.71 公里。

县域北依大别山脉南麓，南临长江，整个地势北高南低，自北向南逐渐倾斜，形成低山、丘陵、平原、洼地的地势，国土资源具有多样性。县西北低山群体，山势平缓，背风向阳，植被较好，宜林宜牧。县东北丘陵地带谷广丘开，中部平原土壤肥沃，都适宜发展种植业。县南滨江滨湖一带，水产资源丰富，有利于水产品生产。据 80 年代初期土壤普查量算：全县总面积 339.15 万亩，其中农用面积 256.15 万亩，占总面积的 75.53%。在农用面积中，耕地 124.77 万亩（1985 年年报 90.92 万亩系习惯亩），山林（含草场、园地）93.97 万亩，水域 37.41 万亩，大体上是“三分半山，一分半水，五分田。”耕地土壤肥力水平和保收程度一般较高，适种性强。属于一、二级的水田和旱地土壤，分别占